



最近の医療事情について 思うこと

沢井 正光

1993
年卒
16回生

沢井クリニック
院長

緑西会の皆様、いつも大変お世話になっております。

15期生の沢井正光と申します。阪急夙川駅にて沢井クリニックを開院し、今年で20年目を迎えました。

私が医学部を目指していた頃と比べると、女性の受験者数は大きく増加し、医学部の偏差値も軒並み上昇しました。医師を志す学生にとっては、入学前から非常に厳しい時代になったと感じます。

医学部入学後も、学内試験に加え CBT・OSCE、卒業試験、医師国家試験と試験が途切れることなく続きます。一度の失敗が留年につながりやすく、学生にとって精神的な負担は以前より大きくなっています。

一方で、大学における教育現場では、指導のあり方にも大きな変化が見られ、学校教師と同様に学生に厳しく指導するとモラルハラスメントと受け取られかねない時代となり、学生による教員評価やベストティーチャー賞といった制度が設けられていることに、時代の変化を感じます。

無事医師となった後も、医療技術や医療機器の進歩、医療機器の発達、画像診断やAI診断の活用により、病気を早期かつ正確に診断できるようになりました。しかしその反面、医師・看護師不足による長時間労働や患者対応の負担は依然として重く、働き方改革が進ん

だとはいえ医療現場の疲弊はいまだ深刻な状況です。

また、インターネットの普及により医療情報が容易に入手できるようになった一方で、誤った情報も氾濫しています。その影響もあり、医療者に対する暴言や過剰な要求、いわゆるカスタマーハラスメントが後を絶ちません。こうした状況でやる気を失ったり、強いストレスに苦しむ医療従事者が増加しています。医師・看護師の約半数、薬剤師では約7割がカスタハラを経験したとの報告もあり、医療従事者の心身への影響は大きな問題となっています。

このような時代だからこそ、医療者と患者がしっかりと対話を重ね、信頼関係を築くことの重要性は、これまで以上に高まっていると感じます。

これから医師を目指す学生の方、また医師として歩み始めたばかりの方には、医学・医療の知識や技術の習得はもちろんですが、人としての基本的な姿勢を大切にしてほしいと思います

年長の患者さんに対する敬意を忘れず、偉そうな態度をとらない、ため口で話したり専門用語に偏らず、患者さんに寄り添う医師であってほしいと心から願っております。

私自身も自戒を込め、健康に留意し今後も学び続けていきたいと思っております。



兵庫医科大学
医学部医学科
3 年生

行光 晃唯



緑西会の皆様、初めまして。兵庫医科大学三年の行光晃唯（ゆきみつあゆ）と申します。まず、簡単に自己紹介をさせていただきます。現在、アメフト部、ゴルフ部に所属しており、アメフト部ではマネージャーとして活動しています。生まれも育ちも西宮で、中学・高校は神戸女学院に通っていました。

今回この緑西 LETTER の原稿を書くことになったきっかけは、2年次に行った診療所実習でほしな眼科を見学させていただいたことです。その際、昼食で訪れたインドカレー屋で、保科幸次先生から原稿執筆のお誘いをいただきました。未熟な学生の自分が書いてよいのかと悩みましたが、貴重な機会だと思い引き受けました。

何を書こうか悩みましたが、保科先生が「何を書いても大丈夫」とおっしゃってくださったこともあり、今回は私の大切にしている座右の銘についてお話ししたいと思います。私の座右の銘は、「何事にも挑戦すること」です。やらない後悔よりやる後悔という言葉がありますが、何もせずに諦めてしまうのはもったいないと思っています。まだまだ小さな経験ばかりですが、私なりに大切にしている考え方です。

中学生の頃は、周りに合わせて自分のやりたいことを諦め後悔することが多かったです。しかし、高校でダンス部に所属し、自分の意

見を言う機会が増え、この考え方が徐々に形になっていきました。

医師を志したきっかけも親族に医療関係者がいなかったからこそ「自分にしかできない挑戦をしたい」と思ったことでした。決められたルールを歩むのではなく、自らの力で道を切り開きたいと考えるようになりました。

大学入学後も、この姿勢を大切にしています。1年次のロンドン海外研修プログラムへの参加をきっかけに、2年の夏にはオーストラリア・パースへ語学留学に行きました。圧倒的に短い夏休みでしたが、自ら計画して挑戦し、多様な価値観に触れ、国を超えた友人ができたことは大きな学びでした。

大学では、CBTが3年次に移り、勉強のスピードが速くなりました。勉強が大変になったのは正直嫌ですが、この変化もひとつの試みとして自分の成長につながっていると感じています。また、兵庫医科大学の魅力は、同期と同じ環境で学ぶことで強い絆が生まれることです。この環境の中で学んでいること自体が、私にとって大きな挑戦であり、恵まれた経験です。

最後になりますが、今後の目標は、さらに新しいことに挑戦し、将来なりたい医師像をより具体的に描いていきたいです。良き医師を目指し、兵庫医科大学の学生として誇れる姿でいられるよう、精進してまいります。緑西会の皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



兵庫県立西宮病院
リウマチ科

關口 昌弘

2000年卒・23回生



みなさん、こんにちは。平成12年卒の關口昌弘です。

私は現在、兵庫県立西宮病院でリウマチ科科長として勤務しております。

当科は2017年の立ち上げ以来、9年目を迎えました。少人数体制ではありますが、「少しでも地域に貢献できれば」という思いで日々の診療に取り組んできました。その結果、外来患者数も年々増加傾向にあり、微力ながら地域医療の一端を担うことができているのではないかと感じています。

皆さんご存じの通り、本年2026年7月には、当院と西宮市立中央病院が統合再編され、『兵庫県立西宮総合医療センター』として新たに整備される予定です。西宮市立中央病院にもリウマチ膠原病内科があり、これまで大阪大学免疫内科の関連施設として診療が行われてきました。統合後は、こうした背景の異なる同一診療科が一つの病院の中で協力し合い、新たな体制のもとで診療を行うことになります。

近年の医療政策の動向を踏まえると、病院の集約化は避けられない流れとなっており、公立病院を中心に、今後も病院統合が進んでいくものと思われます。そのような中で、異なる大学医局の診療科が統合されることも、決して珍しいことではなくなっていくでしょう。今回の統合は、そうした流れを先取りする取り組みの一つとも言えるのかもしれません。

それぞれの施設で培われてきた経験や診療の強みを持ち寄ることで、これまで以上に幅のある医療を提供できるのではないかと感じています。

新病院では、これまで両病院で分かれて担っていた診療機能が集約され、ほぼすべての診療科が揃う体制となる予定です。これにより、院内で完結できる診療の幅が広がり、患者さんにとっても、また地域の先生方にとっても、より紹介しやすく、相談しやすい病院になることが期待されます。阪神間における新たなリウマチ膠原病診療の拠点として、地域の皆さまに安心して受診していただける医療を提供するとともに、地域の先生方からも信頼して患者さんをご紹介いただけるよう、引き続き努めていきたいと考えています。

同門会の先生方の中には、開業医として地域に根ざした診療をされている方、病院で専門性を発揮されている方など、さまざまな立場の方がおられます。今後も同じ地域で診療に携わる仲間として、気軽に声を掛け合いながら連携を深めていければ幸いです。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



中央：私
左：野口和照先生（医長）
右：西井聖二先生（後期レジデント）



何でも気軽に相談できるクリニック


令和のやっさん!

消化器科・内科・外科・肛門科

平川クリニック

平川 一秀 1990年卒・13回生
アメリカンフットボール部

愛車・ケータハム セブン
趣味・ゴルフ



大屋町12-20

消化器内科・外科・肛門外科・在宅訪問診療

おぐしくクリニック

小串伊知郎
(1990年卒・13回生・剣道部)

“どんな屋敷も
俺に任せろ”



上大市5丁目12-15

ふじた内科クリニック

内科・循環器内科・消化器内科

藤田 雅史
(H5卒・スキー部)

趣味：ヨット、トライアスロン

“リョクニシ永遠のPrince”



西宮浜4丁目14-3 マリナヴィラ1階

内科・循環器内科

はまおかクリニック

浜甲子園1-1-9

濱岡 守
(2004年卒・27回生・スキー部)

私に癒されてください

リョクニシ広報部のエース・
西宮市医師会副会長



内科・脳神経内科・皮膚科

辰巳クリニック

笠屋町15-16

辰巳 美晶
(2002年卒・ゴルフ部)

結婚して
ラウンド激減必至!



内科・循環器科・在宅診療

風川医院

安田 雄紀 (H3卒/ラグビー部)

安田 尊子 (H11卒)

緑西の美女と野獣

門戸荘18-19 TEL 52-2018




編集後記

令和8年も早いもので既に数か月が経過しました。今年は、いよいよ9月に兵庫医科大学病院の新病院棟が開院の予定です。地上15階の豪壮な建物の外観はほぼ完成しており、数か月後の開院に向けて、その計画は最終段階といったところでしょうか。さらに2029年の全体整備完了に向けて、これからも既存の建物の改修、解体が続くようです。お膝元の緑西会としても、「ひと」が主役の未来型スマート病院を目指す兵庫医科大学病院と共により良い地域医療が提供出来るよう、新病院棟の開院を皆様と共に楽しみに待ちたいと思います。

なお今年も6月に本会総会が開催される予定となっております。今回も多くの会員の皆さまのご参加をお待ちしております。

(濱岡 守)

総会ご出欠の返信はこちら



兵庫医科大学同窓会緑樹会 西宮支部 緑西会会員数 **176名** 2026.3.1